

平成28年度キャリア教育講演会(28/12/20)

1 期日

平成28年12月20日(火)13:40~15:20

2 対象

本校生徒、職員、保護者

3 講師

池上 彰 氏 (ジャーナリスト)

4 演題

「私の生き方～学び続けることの大切さ～」

5 プロフィール・経歴

かつては「週刊こどもニュース」のキャスターとして、最近では数多くの著作はもちろんですが、テレビを通しての報道解説など、見ない日がないくらいにご活躍されている池上彰先生。これまで世界80カ国を訪れるなど、国内外を問わず自ら現地に足を運び、自分の目で見てきたことを、わかりやすく伝え続ける。ジャーナリストとしての信念は、「判断する材料をわかりやすく提供するが、自身の意見は言わない」とのこと。

(1)主な経歴

1950年 長野県松本市生まれ

1973年 慶應義塾大学経済学部卒業

同年、NHKに記者として入局の後、各地で勤務。

その後「週刊こどもニュース」キャスター (1994年～2005年)などを経て、2005年に独立、フリージャーナリストとして活動。

現在、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院特命教授 (2016年4月～)

(2)主な著書

『池上彰のこれが「世界を動かすパワー」だ!』(文藝春秋)

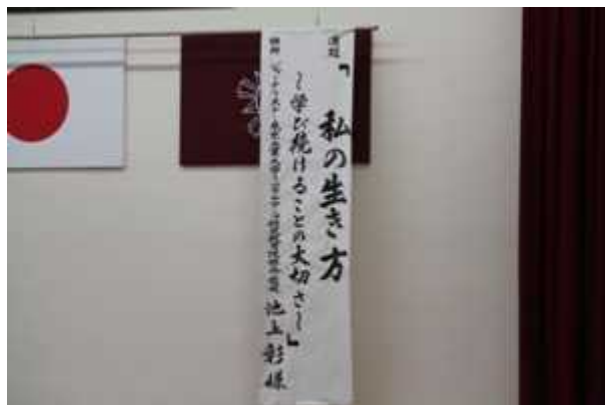
『知らないと恥をかく世界の大問題(7)Gゼロ時代の新しい帝国主義』(角川書店)

『世界を変えた10人の女性 お茶の水女子大学特別講義』(文藝春秋)

『池上彰の君たちと考えるこれからのこと』(日本経済新聞出版社)

他多数

6 本講演会の様子



講師紹介をする鈴木田校長



講師の池上彰氏



職員も真剣に聞き入りました



講演を聞く大勢の保護者が集まる第2体育館の様子





講演後は拍手が鳴り止みませんでした



多数の生徒が質問しました



生徒会長が謝辞を述べました



お忙しい中、本当にありがとうございました

7 講演会後の生徒の感想より

- 今日、池上先生の講演を聞いて、(中略)「好奇心を忘れてしまえば、老人と一緒に」という言葉がすごく心の奥深くまで届きました。(中略)外見だけではなく内面まで若くられるように、小さなことでも興味を持つことを心がけたいです。(中1)
- 池上先生の話聞いて、メディアの素晴らしさを感じることができました。メディアによって救われる命があることも知ることができました。しかし、いいことだけではなく人を傷つけてしまうことがあることも分かりました。(中2)
- 池上先生の話では、「楽な仕事なんてない」「仕事とは人々に貢献するものだ」「人間は好奇心を持って学び続けることができれば成長できる」「夢は諦めなければ何らかの形で叶う」など、たくさん大切なことを知ることができました。(中3)
- 池上先生のお話で、なりたい職業になるのは難しいけど、経験を積んでいるうちになりたい職業に関係のある仕事に携わることがある、というのが印象に残りました。私は今まで、何度も夢が変わってきました。その中には簡単に諦めたものもあります。しかし、先生のお話を聞いて、誠実に目の前のことを頑張っていたら沢山の経験ができ夢につながるかもと希望がわいてきました。(高1)
- 私が特に心に残っているのは、「意見を持つ際、その意見を他人頼みにするというのはとても危険なことである」という話です。私自身が人に影響されやすく、すぐ人に聞いて自分の意見を持っている「つもり」になることがよくあります。しかし、意見や考えというものは自分で考えるからこそ自分のものになるのであって、与えられた判断材料をよく吟味し、自分で決断していく力というのは本当に大切に身につけておかなければならない能力だと思いました。(高1)
- 世界80カ国を旅されたときのパスポートに関する経験で思ったのですが、池上先生が「(国境に関する)条約を知っていたので理由が分かった」とおっしゃった時、やはり勉強することはいかなる時も大切であり、必ず自分自身の何かにつながるということを思い知らされました。(高2)
- 講演の最後に読まれた本の言葉に驚きました。(中略)本は読めば読むほど自分の考えを述べにくくなるということを知り、(読書に対して)今まで勘違いをしていたことに気づかされました。だから、池上先生が言われたように本を読み終えたら、どこが面白かったとか熱中したとかなどの自分の思いや考えを振り返ってみようと思います。(高2)
- 私たちは、学校に通って勉強するという恵まれた環境にいるけれど、それに気付かず「勉強したくない」と思う時があります。しかし、それは「やらされている」と感じてしまっているからだと思います。今は「大学に行くため」

に勉強しているけど、当然大学へ入ってから、そして就職してからも勉強は続くから、今日池上先生がおっしゃったように興味を持ち続けて、死ぬまでたくさんを「学ぶ」姿勢を大事にしていきたいです。(高3)

●私は将来、メディア関係の仕事に就きたいと思っています。これまでは「テレビかラジオ」と決めていましたが、今情報を伝える手段はたくさんあります。池上先生が就職の時に感じたという「テレビの時代」や気づいたらやっている仕事の根本は同じという話から、「これからのメディアはどう変わっていくのか」や「情報を提供する手段の幅広さ」を考え、将来やりたい仕事について根本は変わらなくても形が変わるかもしれないと思うきっかけとなりました。(高3)

●「夢は実現するとは限らないが、夢を捨ててはいけない」とおっしゃった言葉が、今受験生として勉強し続けている身としてとても魅力的でした。(中略)勉強し続けることは、自分も周りも助ける。情報を得るためにも、これから生きるためにも勉強は必要であり、改めて勉強に真摯に向き合っていかなければと思いました。(高3)